



～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～



10月6日（日）、千代田東部小学校体育大会を行いました。

早朝から、来賓の方々、地域の方々、保護者の皆様においでいただき、子供たちが全力で取り組む姿を見ていただきました。

今年は、「子供たちが主役になる」「子供たちがつくる」体育大会をテーマに、計画・準備の段階から取り組んできました。

6年生は、応援合戦や代表委員会を開いて体育大会を盛り上げることはもちろん、なくそうとしていたプログラム「全校玉入れ」を、職員会議に押しかけ、熱い思いで実施のお願いをしに来ました。計画の不備を指摘し、一度は差し戻したのですが、再度校長室にお願いに来て、練り直した計画を説明し、実施が実現しました。子供たちの熱意に負けました。

5年生は、体育大会を盛り上げようと、保護者用の「応援うちわ」をつくりました。放送で、全校に呼びかけてうちわを集めたり、集めたうちわに赤・白の紙を貼り、その上からメッセージを書いたりして各家庭に配布しました。

4年生は、オリンピックにならい、開会式で使う聖火のトーチをつくりました。また、3～6年生合同の表現活動で使う「おみこし」を協力して作りました。そのできばえには感心させられました。

3年生は、代表委員会で決まった体育大会のスローガンをみんながいつも意識して頑張れるように、ボードにスローガンを書いて、本部テントのところに掲示しました。

2年生・1年生は、応援合戦で上級生の指示を聞いて、精一杯の声を出したり、体全体を使って踊ったりして、自分たちの応援を盛り上げました。

今年はまさに、子供たちの手作りによる、子供たちが主役となった体育大会でした。その分、子供たちの精一杯の声が、まっすぐな瞳が、見る者の心を打つ感動的な体育大会となりました。

ご参観・応援いただいた皆様、本当にありがとうございました。

